

けんせいちくちいきせいかついかうすいしん
県西地区地域生活移行推進

みんかんでいあんじぎょう すいしんじょうきょうせつめいしりょう
民間提案事業 進捗状況説明資料

れい わ ご ね ん ど

「令和5年度の

とりくみじょうきょう
取り組み状況について」

けんせいちくちいきせいかついかうすいしんみんかんでいあんじぎょうじむきょく
県西地区地域生活移行推進民間提案事業事務局
しゃかいふくしほうじんほうあんじしゃかいじぎょうぶ
社会福祉法人 宝安寺社会事業部

けんせいちくちいきせいかついかうすいしん
県西地区地域生活移行推進

みんかんでいあんじぎょう
民間提案事業のコンセプト

ちいき ちから しゅうけつ
地域の力を集結して

しょうがい かた
障害のある方の

く せんたくし ふ
暮らしの選択肢を増やして

あんしん せいかつ ば ていきょう
安心できる生活の場の提供をしよう！

いしけっていしえん きょうか・てってい
***意思決定支援の強化・徹底とともに、**
りょうじつ ていきょう つと
良質なサービスの提供に努めよう！

けんせいちく ちいきせい かついこうすいしん 県西地区 地域生活移行推進

みんかんでいあんじぎょう がいよう 民間提案事業 概要

1

いしけつていしえんに
基づく現入所者の
生活の質の見直し

じゃくねんそうのゆうきげん
支援プログラムの
作成

けんせいちくちゆうしよしせつ
ミーティングの定例化

ちいきせい かついこう
エキスパート・スペシ
ヤリストとの連携

にゆうしよしせつ
・入所施設とグループホームの連携
じゃくねんそう せつきよくてきうけいれ
・若年層の積極的受入れ
げんちゆうしよしや せいかつのば みなおしけんとう
・現入所者の生活の場の見直し検討
しようがいしやしえんしせつ れんけい みなお
障害者支援施設の連携と見直し

2

けんいきナビとの
連携

ぎょうせいきかん
行政機関との
連携

そうだんきかん
相談機関との
連携

こうどせんせんしよく
高度専門職による
研修

けんしゅうどうが
研修動画の
作成

グループホームとの連携

しようがいしえんしせつ じれいきやうぎ
・障害支援施設との事例協議
しよくいんけんしゆう
・グループホーム職員研修・コンサルの実施
れんらくかいのかいさい
・グループホーム連絡会の開催

3

けんしゅうこうし
研修講師
育成PT

じれいけんとう
事例検討
ファシリテーター
養成PT

けんしゅうたいけい
研修体系
構築PT

だいがくとの
連携による
「小田原地域
盛り上げ作戦」

人材の確保と育成

じんざい かくほ いくせい
・若者世代の福祉人材の育成
わかものでだい ふくしじんざいのいくせい
こうぜんもんしよくのいくせい
・高度専門職の育成
けんしゅうたいけいのこうちく
・研修体系の構築
じっせんほうこくかいのかいさい
・実践報告会の開催

1 障害者支援施設の連携と見直し

げんにゆうしょしゃ

せいかつのば

みなおしけんとう

(1) 現入所者の生活の場の見直し検討

しせつ

こべつしえんけいかくじょう

ちいきせいかついかうすいしんしゃ

・4施設における個別支援計画上の地域生活移行推進者

いかうもくひょう

い

移行目標 5名

ちいきせいかついかうすいしん

じょうほうこうかん

にゆうしょしゃ

・地域生活移行推進の情報交換(入所施設ミーティング)

じゃくねんそう

せっきよくてきうけいれ

(2) 若年層の積極的受け入れ

しょうがいじにゆうしょしせつ

げんじょうかくにん

かた

こんご

けんとう

・障害児入所施設の現状確認とあり方の今後の検討

とくべつしえんがっこうしんろたんとう

きょうぎ

・特別支援学校進路担当との協議

しきせいかつひょうか

べんきょうかい

・スバル式生活力評価シートの勉強会

しょうがいしゃしえんしせつ

れんけい

(3) 障害者支援施設とグループホームの連携

れんらくかい

ていあん

よてい

・グループホーム連絡会で提案(予定)

2 グループホームとの連携

(1) グループホーム連絡会の開催

・グループホーム連絡会運営委員の選出(7名)

・第一回グループホーム連絡会開催(4月予定)

(2) グループホーム職員研修・コンサルの実施

・アンケートによる研修やコンサルのニーズ把握

・職員研修動画制作(6本・各法人に依頼)

(3) 障害者支援施設との事例協議

・グループホーム連絡会で提案(予定)

・すでに個別では実施中

3 人材の確保と育成

(1) 実践報告会の開催

・**第一回実践報告会の開催(2月 27名参加)**

・**第二回の開催(9月予定 施設長会研修担当主催)**

(2) 研修体系の構築

・**研修体系(案)の作成**

(3) 高度専門職の育成

・**4法人の若手職員による研修動画作成(年度末まで6本)**

(4) 若者世代の福祉人材の育成

・**地元医療福祉系大学とコラボした高校生への啓発**

今後の取り組み課題(次年度以降への事業継続)

1 グループホームの協力要請

- GH一覧やアンケート未回答の事業所への協力要請

2 グループホームからのニーズ把握

- 研修やコンサル、情報交換など具体的なニーズの把握と支援の調整

3 行政や関係機関の協力要請

- 市町障害福祉行政や基幹など相談支援機関、支援学校との連携及び協力要請

4 事務局の事務や権限の委譲

- 段階的に事務局役割を基幹等に移乗していく

本事業の成果

1 グループホームのニーズ把握

- GH側も連携を望んでいることが判明

2 グループホーム一覧表による視覚化

- わかり易い情報提供（セキュリティー強化が課題）

3 施設長会でのグループホームの情報共有

- 情報の共有とともに支援の協力意識の高まり

4 県西モデルの構築

- 若年層の入所による安定した地域生活の評価事業
- 研修動画制作による研修効果と人材の育成
- GH一覧による利用者とのマッチングアプリ化

さいごに
最後に

けんせいちく

しょうがいしゃしえん

しょうらいぞう

県西地区における障害者支援の将来像

りようしゃひとり

みずから

いし

もと

利用者1人ひとりが自らの意思に基づいて

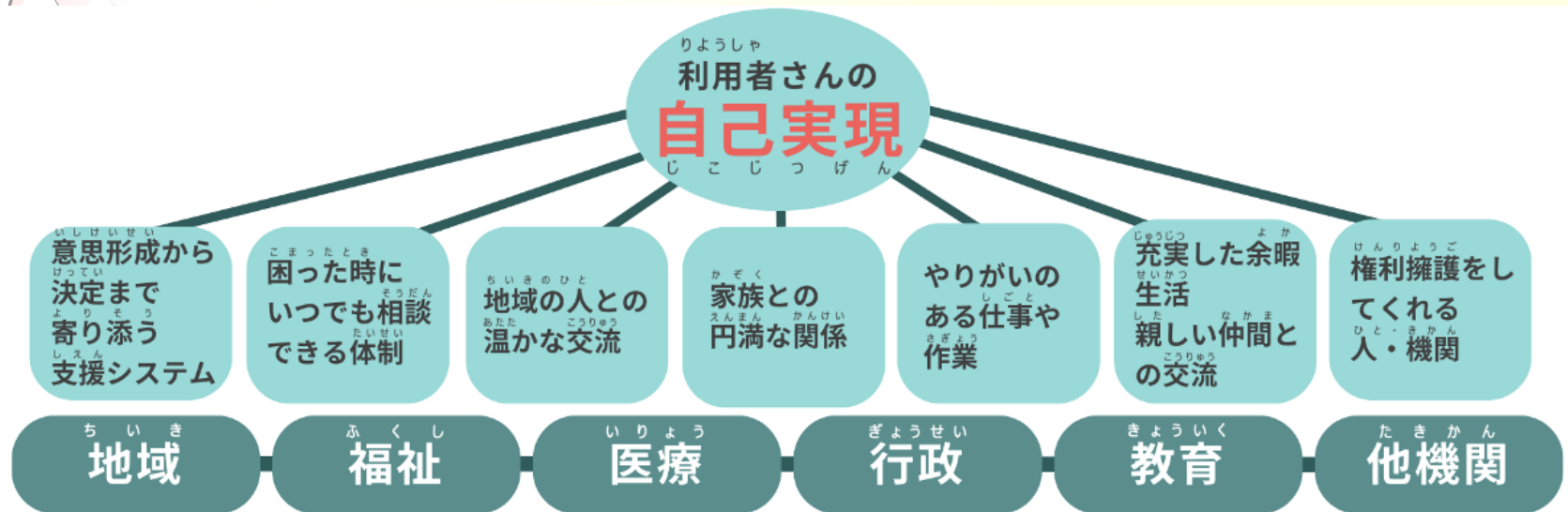
いくつになっても安心して自分らしく暮らせる

せいかつ

ばが

せんたく

生活の場が選択できる



支援者同士が相互に繋がることで、暮らしやすい地域づくりを実現